



津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



例会日/毎火曜日
 例会場/津都ホテル 津市大門7-15
 事務所/津市大門10-7
 ピッチャーズビル2階
 TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/竹内 敏明
 幹事/岡部 宏司
 E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp
 ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/

2016~2017

第2445回例会 2016年9月8日(木) 天候 雨のち晴

—— 9月は基本的教育と識字率向上月間 ——



例会予定

9月13日(火) 月間関連卓話 内田 祐仁会員
 9月20日(火) 観月夜間例会 18:30~ 於: ベイシスカ
 9月27日(火) IM報告
 10月4日(火) 月間関連卓話
 元米山記念奨学生 バニックシャーム・スンドール様

津・四クラブ合同例会

於: 津都ホテル ホストクラブ: 津北RC

進行担当

[津北RC 池田SAA]

国歌斉唱 ロータリーソング 奉仕の理想

来訪者

[津北RC 岩崎会長]

ガバナー 劔田 廣喜様
 ガバナー補佐 中村 晶宣様
 地区幹事 村瀬 祐治様
 地区幹事補佐 高橋 厚生様

出席報告

[千原委員]

9月8日 出席率 49名中 41名 87.23%
 8月9日 修正出席率 47名中 46名 97.87%

ニコBOX

竹内 敏明君 津南RCの会員の皆様、四クラブ合同例会に出席ありがとうございます。
 岡部 宏司君 劔田ガバナーをお迎えして、久しぶりの四クラブ合同楽しませていただきます。
 川喜田 久君
 刀根 大士君 長い間休みを頂きましたが無事に、又有意義な2ヶ月間を過ごさせて頂きました。有難うございました。
 林 裕行君 津四クラブ合同例会を祝して。劔田廣喜ガバナー、ご指導をよろしくお願ひします。

会長報告

[津北RC 岩崎会長]

津四クラブの会員の皆様こんにちは。本日の例会を担当させて頂く津北RC会長の岩崎均です。四クラブを代表して一言ご挨拶を申し上げます。

最初に、先日の台風で被災された地域の皆様に、心からお見舞い申し上げます。

本日は、劔田ガバナー、中村ガバナー補佐、村瀬地区幹事をはじめ地区役員の皆様、そして津四クラブ会員の皆様、お忙しい中をようこそお越しいただきました。心より歓迎いたします。

今年度の地区活動方針は「最も出席するもの最も報いられる」です。劔田ガバナーには後ほど、今後のロータリーへ有意義な内容のご講演を頂けるとお思います。

講演内容を参考にして、津四クラブは連携を重ねながら今年度の6つのクラブ目標に近づき、会長賞に挑戦したいと思っています。

最後に津四クラブ合同例会が、価値あるものになりますよう皆様のご協力をお願いし、簡単ではございますが私のご挨拶とさせていただきます。

幹事報告

[津北RC 楠井幹事]

★中勢・伊賀グループ「はぐるま会秋季大会」の案内が届きました。11月4日(金)名張カントリークラブにて開催予定となっております。詳細は各クラブでお願いします。本日の幹事報告は以上です。

100%出席・激励表彰

[劔田ガバナー]

【表彰】30年以上100%出席 (順不同・敬称略)
 津 RC 辻 正敏 津 RC 石倉 紀男
 津北RC 三浦 義秀 津北RC 奥井 明男

【激励】35歳以下の正会員

津北RC 山田 瞳 津 RC 近澤 太輔

ガバナー公式訪問 卓話

国際ロータリー第2630地区
ガバナー 劔田 廣喜 様



今年度第2630地区ガバナーを務めます劔田でございます。所属は高山中央RCです。皆様とともにロータリー活動ができることを大変光榮に存じております、どうか、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2016年度規定審議会で大きな変更があり、それによってクラブが混乱していると聞きます。

今回の規定審議会変更のバツボーンは、現在、国際ロータリーによると、ロータリー会員の70%以上が50歳以上であり、30歳未満が世界人口の約半分を占める今日の世界と大きくかけ離れています。会員増強のカギの一つは、例会に関する厳しい規則を和らげ、若い世代とデジタル志向の人びとのニーズに応えること。若い世代の参加を促すには「時代に即す」ことが何よりも重要という考えに方にそった若い世代へのプロモーション、リクルートであると思えます。

2016年度規定審議会の変更をひと言で云えば、クラブに柔軟性を持たせること即ち、今までは、決まったことを「頼り」にしていれば済んだところが、これからは、クラブの在り方全てがクラブにその自由と、責任が課せられたとも云えます。クラブが自主性をもって進むべき方向を決定しなければならないと云うことです。つまり発展するも沈滞するも、クラブ次第になったのです。

また見方を変えれば、日本の伝統的なロータリー文化を順守しようと考えれば、今まで以上にその理念を明確に打ち出すことも可能であると考えられます。いずれにせよ、RIの示す方向に進んでもよし、伝統を守ってもよし、多様性が認められ、クラブは二極分化が進むでしょう。これからは、クラブが選ばれる時代となります。

それでは、クラブの方向性を示すものはなにか？云うまでもなくクラブ細則です。

細則の中で、独自性即ち所在地域における存在意義を示すことができないクラブいずれの方向性も示すことができないまま途中半端なクラブ、クラブ細則で管理運営できないいきないクラブが衰退するであろうことは断言できます。

(服部芳樹PDG 2016~17~18年ロータリークラブ細則 原案解説参照)

クラブの自主性についてロータリーの4代目会長フランク・マルホランドは「1番大切な事は各RCの自主性である。ロータリー運動は各RCによって支えられ、RCが主体的に物事を考える為には、1人1人のロータリアンの質が問われるのだ」と力説いたしました。

最近ではロータリー活動が多面的になり、新しい会員には、ロータリーとは何であるか余程よく説明しないと、わかり難いと思われまので、ロータリーに経験の深いベテランロータリアンによる簡便な説明が伴わないと、ロータリーが何であるかわからないまま、或いは終わってしまうことにもなりかねないと危惧しています。

- 単に定款・細則やロータリー用語の開設に終始することなく、会員自身がロータリーに興味をもち、自らももっとロータリーを知ろうとする、そして一人でも多くの会員にロータリーが好きになるきっかけを与えることが大切ではないでしょうか。
- こうしてロータリーを知ることにより、ロータリーに情熱を燃やすようになり、意欲的なロータリアンになるものと思われま。

今回の変更で見えてきたものがあります。それは、RIの変質であります。

これまで、国際ロータリーは3年ごとの規定審議会を経るごとに、雪崩を打つかのように変貌し、今や国際ロータリーはロータリー財団頼みの組織に変質しました。国際ロータリーは人道的世界社会奉仕事業を金看板とする組織なのです。

ファイナルインチを迎えたポリオ撲滅に続いてRIが未来を託す巨大プログラムは世界平和に関するものでしょう。ノーベル平和賞まで視野に入れた徹底した成果主義によってRIのブランド、アイデンティティーの確立を目指したのです。これが財団100年の歴史が指し示すRIの方向性です。

この様に国際ロータリーは、人道的世界社会奉仕に向かって突き進んでいきます。私は人道奉仕が悪いと言っているのではありません。ロータリアンは常に弱者に涙する心を失ってはなりません、財団の寄付、人道奉仕はできる限りしなければなりません。ただ、それはロータリアンが例会で奉仕の心を身に着けたことの反射的效果にすぎないので、あくまでも、ロータリーの心を磨き職業奉仕の専心によって自分の職業を安泰にしてからということです。今や例会やクラブ委員会活動における人間形成への努力が忘れ去られ、寄付額や単なる社会奉仕活動の実績だけでロータリークラブやロータリアンが評価されることに重点が置かれ、その見返りにロータリーが失ったものはロータリー精神性、ロータリーの心

であります。

ここで、ロータリーの心を説明させていただきます。

(ロータリーのこころ)

私達はこれまで(ロータリー)をあまりにも難しく考え、語ってきたのではないかと思います。ロータリーという組織は決して複雑で難解なものであってはならないし、そうなるものでもありません。なぜならばロータリーの理念は古くから人間が大切にしてきた道徳、つまり中国で古くから使われる仏教用語の寛恕(広い心で許す)(わたしは、思いやりの心、助け合いに心とっております)。ですから

ロータリーが訴えかけている奉仕の理念は時代を超えて変えてはならないロータリーの心と呼びなおしてもいいと思います。ここで、ロータリーのこころとは何かを解りやすく話させて頂きます。

「昔、インドに相思相愛の王様夫婦がおりました。ある日王様が最愛の奥様に、『よく考えてみると、私は、最愛のお前より、私自身が一番愛しいように思う。』といわれました。それに対して奥様も、『実は、私も、貴方より私自身の方が一番愛しいと思います。』と答えられました。王様は『皆が皆、自分自身が一番可愛いと思ったら、この世の中は成り立たないから、お釈迦様に聞いてみよう。』と云って二人でお釈迦様を尋ねたそうです。お釈迦様は、二人の話聞いて『人間は誰でも皆、自分自身が一番可愛いのです。それでいいのです。ただ、相手も、自分自身が一番可愛いと思っていることを忘れないように。』とお諭しになりました。』

ここに相手に対する思いやりの心が生まれるのです。自分以外の人に対する愛が始まるのであります。世の中の人々が皆、このような心、「他人の事を思いやり、他人のために尽くす」という心を持って初めてこの世の中が成り立つのであります。自分自身を愛することが出来て初めて人を愛することが出来るのです。そして世の中の人々のことを考えることが出来るのであります。これがとりもなおさず「ロータリーの心」であります。

ここで職業奉仕の説明をします。職業奉仕は儲けたいという内向きのエネルギーとお客に役立ちたいという外向きのエネルギーの調和ですこれは寛容なくしては果たせません。この相反するエネルギー中心に、ロータリーの心(相手に対する思いやりの心)を置くことが職業奉仕であります。またこれが巡り巡って自らの利益へ帰ってくるという因縁果律(世の中の成り立ちは、善悪で構成されているのではなく、あくまで前世因縁なのである)。です。地球上でボールを投げあげたら、やがて地上に落ちてくることに似て、覆すことのできない自然の法則なのです。だからこそ永続きしているのです。

(ロータリーの変貌)

奉仕の第1世紀を終え、国際ロータリーはロータリアンに「ロータリーの心」を浸透させ、ひいては世間の人に高潔性を以ってなるロータリーとして認知してもらうという初期の目的を達成することに失敗しました。

「ロータリーの心」は世間で認知されないばかりか、ロータリアン自身の職業上の不正も相次いでいます。ロータリーの存在すら世間に認知されていないありさまです。アインシュタインは語りました。「同じことを繰り返しながら、違う結果を期待することは、狂気である」と。かくしてRIは従来の手法を変えて出してきたのが、「戦略計画」、財団の「夢計画」に他ならないのです。「戦略計画」それを支える「夢計画」で訴えていることは、「人道的奉仕活動の重点化と増加」であります。そのための財政的支援、それを可能にする会員増強、それを促進する公共イメージ、認知度の向上を目指したのです。ところが「人道的奉仕」が「職業奉仕」を凌駕してしまったのです。この変貌が行く末を不安にしている現在です。

このように、ロータリーから基本的理念が失われ例会、職業奉仕は形骸化し、ロータリーの形骸化となり、安易なボランティア団体に移行してしまう事を絶対くい止めなければなりません。それは、ほこり高き日本のロータリー文化を受け継いで、例会、職業奉仕を大切にしたい人づくりのロータリーの構築です。

劔田ガバナー公式訪問 津・四クラブ合同例会スケジュール

〈日時〉2016年9月8日(木) 12:30~13:30

〈会場〉津都ホテル 伊勢の間

司会進行 津北RC SAA 池田和司

12:25 全員着席

12:30 点鐘 津北RC 会長 岩崎 均

ソング「君が代」「奉仕の理想」

ご来訪者紹介

会長挨拶:津北RC 会長 岩崎 均

幹事報告:津北RC 幹事 楠井嘉行

出席報告(津・津南・久居・津北)

各RC出席委員会

12:41 表彰(30年以上100%出席会員)

激励(35歳以下の会員) 劔田廣喜ガバナー

代表スピーチ:津 RC 辻 正敏様

:津北RC 三浦義秀様

————— 食 事 —————

13:00 劔田廣喜 ガバナー講話

13:30 点鐘(閉会) 津北RC 会長 岩崎 均

30年以上皆出席の表彰を受けて

津北RC 三浦 義秀 君

本日はこのような表彰を受け感激しております。私は1976年7月に津北ロータリークラブに、入会を許され本年で40年を迎えます。入会以来皆出席を続けております。幸いにも今日に至るまで大きな病氣もなく健康に恵まれたことが一番の要因であると思っております。

入会直後、当時の先輩ロータリアンの方々から、ともかく例会に出席することの大切さをご指導いただきました。初めは、わけもわからず毎週木曜日の昼食はロータリークラブでとることを日課にしました。

私は、当時32歳の若輩者でございましたので、人生経験豊富な先輩会員の皆様のお話を聞けることの楽しみと、ロータリーの奉仕の精神を教えていただ

けたことは、私自身の大きな財産になっております。今後は皆様から頂いた教えを少しでもクラブにお返ししていきたいと思っております。

これからも健康に留意して、できる限り例会出席を続けたいと思っております。今まで以上のご厚誼をよろしくお願いいたします。



30年以上例会100%出席 表彰をいただいて

津RC 辻 正敏 君

まず健康だったことに感謝いたします。途中手術入院の時期もありましたが例会日前後2週間の出席補填が可能となったことと、特別休会に助けられた

ことが100%出席できた要因です。最も大きなことは、いつの間にか例会出席がライフワークとなり、自然に例会場に足が向くようになったことです。自分の健康を維持し、出席することで様々な情報に触れることができます。ロータリーに感謝しながらこれからも出席を続けたいと思います。ありがとうございました。

激励のことば

国際ロータリー第2630地区
ガバナー 劔田 廣喜 様

クラブは若い会員を増強しなければ活力は失われていきます。組織を常に若く保ち、かつ多様性を持った会員を受け入れ、新しい異質の入会に門戸を広げなければ、これからの新しい時代に生き残ることはできません。

若い会員はロータリーにとって「金のたまご」であり、新鮮な血液です。

我々のようなベテランもあなた方のような若い人もロータリーでは平等なのです。堂々と自分の考えを述べていただきたいと思います。それがロータリーの発展につながることにあります。まずはロータリーを学び、一日も早くクラブに慣れていただきたいと思います。新しいパワーとなられる方々のロータリーを学ぶ真摯な姿勢に心よりエールを贈り、激励の言葉とします。

新会員紹介



三交不動産(株)
代表取締役社長
〒514-0033
津市丸之内 9 番18号
TEL 059-227-5111
FAX 059-221-0070

たかばやし まなぶ
高林 学

H28. 8. 30入会

事業内容 不動産業

- 住宅団地の開発、分譲
- マンションの開発、分譲
- 不動産の仲介斡旋
- 商業施設、貸ビル、駐車場などの経営
- 注文住宅
- リフォーム事業
- 高齢者向け住宅事業

よろしくお願いいたします。